

現場からの 農村学教室

<288>

テーマ

小水力発電を普及させたい

再生エネ各地に動き

堀口健治 早稲田大学教授

再生エネの小水力発電は、太陽光と違い、安定電源である。だが、水量調査、頭上、水路、ポンプ機、水車、発電機などは、完成に時間がかかる。融資案件は、多様な工夫で実現しているが、実際は金の確保が...

スキー場軸に活性化

長野県白馬には豊富なスキー場があり、近年交通の便もよくなった。山から降りてくる観光客は、スキー場だけでなく、周辺の観光地や温泉地にも足を伸ばす。スキー場が地域の活性化の軸となっている。

施設更新へJA二丸

中国地方では、多くの小水力が世紀の遺産を築きながら、静かに力を発揮している。JA二丸は、これらの小水力施設を更新し、地域活性化に貢献する。

地域住民も取り組み

最近、鳥取県企業12カ所が、小水力発電所の設置を検討している。地域住民も積極的に参加し、持続可能なエネルギーを創出しようとしている。



発電機内の鉄骨の前には、水車の羽根が確認できる。鳥取県鳥取市。



JA鳥取中央の山守発電所。水利権はJA、京東電力が施設建設で地権者がJAが運営する形になった。(鳥取県鳥取市)



ほりぐち・けんじ 1942年朝鮮生まれ。65年早稲田大学政経学部卒、68年東大大学院農産学博士課程中退、鹿児島大、東京農大を経て91年早稲田大教授、2013年退職。その後、日本農業経営大学校長を21年まで務めた。再生エネの著書は「地域貢献の小水力発電」(筑波書房、21年)がある。

取材ノート

24年問題で花き産地は

「難民、人ごとでない」

トラックによる輸力不足が懸念される。24年問題で花き産地は、輸送手段の確保が急務となっている。産地では、トラックの確保に努めている。



台車への載せ方を運転手に確認する農家(三重県伊勢市)

「難民、人ごとでない」。産地では、トラックの確保に努めている。産地では、トラックの確保に努めている。

800m先をも照らす大光量ライト! 広範囲ライト 800m (約240坪) 大光量ライト 800m. 電池不要の花電式. NEW LEDビッグライト. 販売価格 61480004

パワフル温風で脱衣所暖房&衣類乾燥などマルチに活躍! 入浴前後の暖房に2WAY脱衣所ヒーター ヒートショック対策! 見やすいデジタル表示! タオル掛け付き. 販売価格 60640014

病院に必要な多機能ポケットを備えた忘れ物知らずの逸品! 優雅なヨーロッパ調の高級感溢れる相更紗柄 お薬手帳ケース. 販売価格 62140007

お申し込みは電話・ハガキ・FAXで! 0120-55-9920 03-3543-8884 (24時間受付)

Copyright(C) THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS.